

後には引けなかった でんすけの再開

リハビリを担当し、ずっと岸川さんからでんすけの事を聞いていた作業療法士がいた。「岸川さんは前と変わらない味のチャンポンが作れるようになった。岸川さんはでんすけに戻るべきです」とその作業療法士がNPO法人ゆとりの中村理事長へ相談したことから、でんすけ再開へと動き出した。

理事長は「でんすけの再開は、あったものをもとの形に戻す、というリハビリの仕事そのものだと思います。これがNPOゆとりの目指す障がい者支援の道だと、私の理想を岸川さんに押し付けたんですよ。ね。若いスタッフ達にも約束しましたし」と笑いながら語った。岸川さん本人に実感がわかないまま、NPOゆとりでは大量のチャンポンを作る練習が行われ、さらにでんすけの改装も始まった。

まさに、「外堀を埋められていった」形で、でんすけは再開することとなった。再開した後も、NPOゆとりからはスタッフが足りない時に、調理補助にヘルプできてもらうなど、二人三脚で日々奮闘している。今日も、頼まれたら断れない岸川さんと同じ、やさしい味のチャンポンがお客へ安らぎの時間を提供している。



でんすけ

- 📍 武雄市武雄町大字富岡9834
- ☎ 0954-23-2246
- 🕒 11:00～15:00 (o.s. 14:30)
- 🅐 有 (7台)
- 🅕 日曜日

